

「女性キャリアパス」へようこそ

本講義は、環境情報学府が重点的に推進していく教育・研究プロジェクトのひとつ「横浜国大発・男女共同参画アウトリーチプロジェクトー女性研究者キャリアパス教育の取り組み」の中の1本の柱である「エンパワーメント事業」として開講するものです。

国の政策として、日本が将来にわたり活力ある経済・社会を創造していくためには、多様な人材の能力を活用するとともに、多様な視点、新たな発想の導入が重要といわれています。つまり、「女性、外国人、高齢者の活用を推進」ということです。特に、女性の参画については「2020年までに指導的地位にある女性の割合を30%とする」ということですが、なかなか進展は見られません。そして、平成20年を「仕事と生活の調和元年」として、ワーク・ライフ・バランスという言葉が広まり始めました。

とはいうものの、現在大学院在学中の皆さんが将来社会人となって生活していくときさまざまな問題が生じてくるでしょう。

皆さんの将来、あるいは今現在の問題点として考えられることは、

- ・研究の継続は可能か？、・生活していけるか？、・就職先があるか？・結婚するか？、
- ・同居か別居か？（女性研究者の配偶者の半数から75%は研究者）、・子供を持つか？（育児・子育て・保育所・学童保育所の問題）

等々限りなく出てきます。

現在（平成20年現在）、環境情報学府に在籍する女性教員は（人間教育科学部からの協力教員を含め）6名（～100名中）

各先生方は、それぞれ今現在さまざまな環境下におられます。

そのさまざまな環境下に至った道のお話を伺って、皆様への今後の参考にしていただけたらと思います。

---

平成20年度から22年度まで3年間、環境情報学府の講義として「女性キャリアパス」が開講されました、本冊子は3年目のまとめとして、過去掲載できなかった「平成20年度 女性研究者エンカレッジセミナー」における、長谷川眞理子と上條茉莉子氏の講演記録を巻頭に掲載いたします。

（平成22年度の講義記録は平成23年3月11日の東日本大震災の発生にともない、発行が遅れておりました。）

平成23年夏 「女性キャリアパス」代表 有光直子